

口永良部島

概 況

火山性地震の発生は少なくなっていますが、火山性微動が 14～16 日にかけてやや多く発生しており、火山活動はやや活発な状態で推移しました。

噴煙活動の状況

上屋久町口永良部島出張所によると新岳・古岳からの噴気には特に変化は認められませんでした。

監視カメラによる観測では、新岳・古岳からの噴気は観測されませんでした。

地震・微動活動の状況

火山性地震の月回数は 61 回(3 月：196 回)と少なくなりました(図 1)。震源は新岳直下付近でした(図 3)。

火山性微動は 14 日に 4 回、15 日に 14 回、16 日に 6 回とやや多く発生しましたが、その後は少なくなっています(図 2)。月回数は 29 回(3 月：10 回)でした(図 2)。

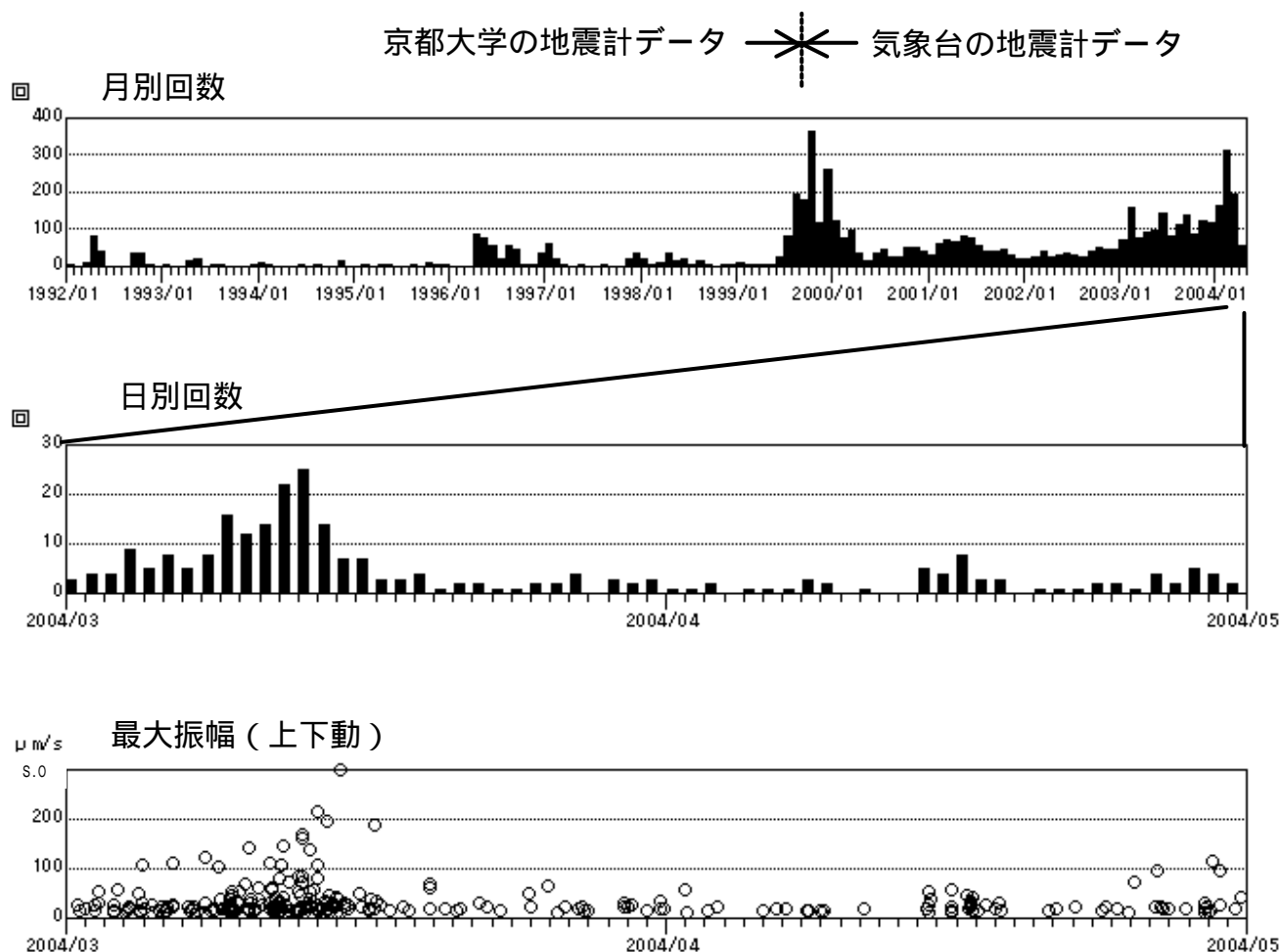


図 1 火山性地震活動経過図(1992 年 1 月 1 日～2004 年 4 月 30 日)
(1999 年 9 月 12 日までは、京都大学が口永良部島観測点の地震計で計数したデータを利用)

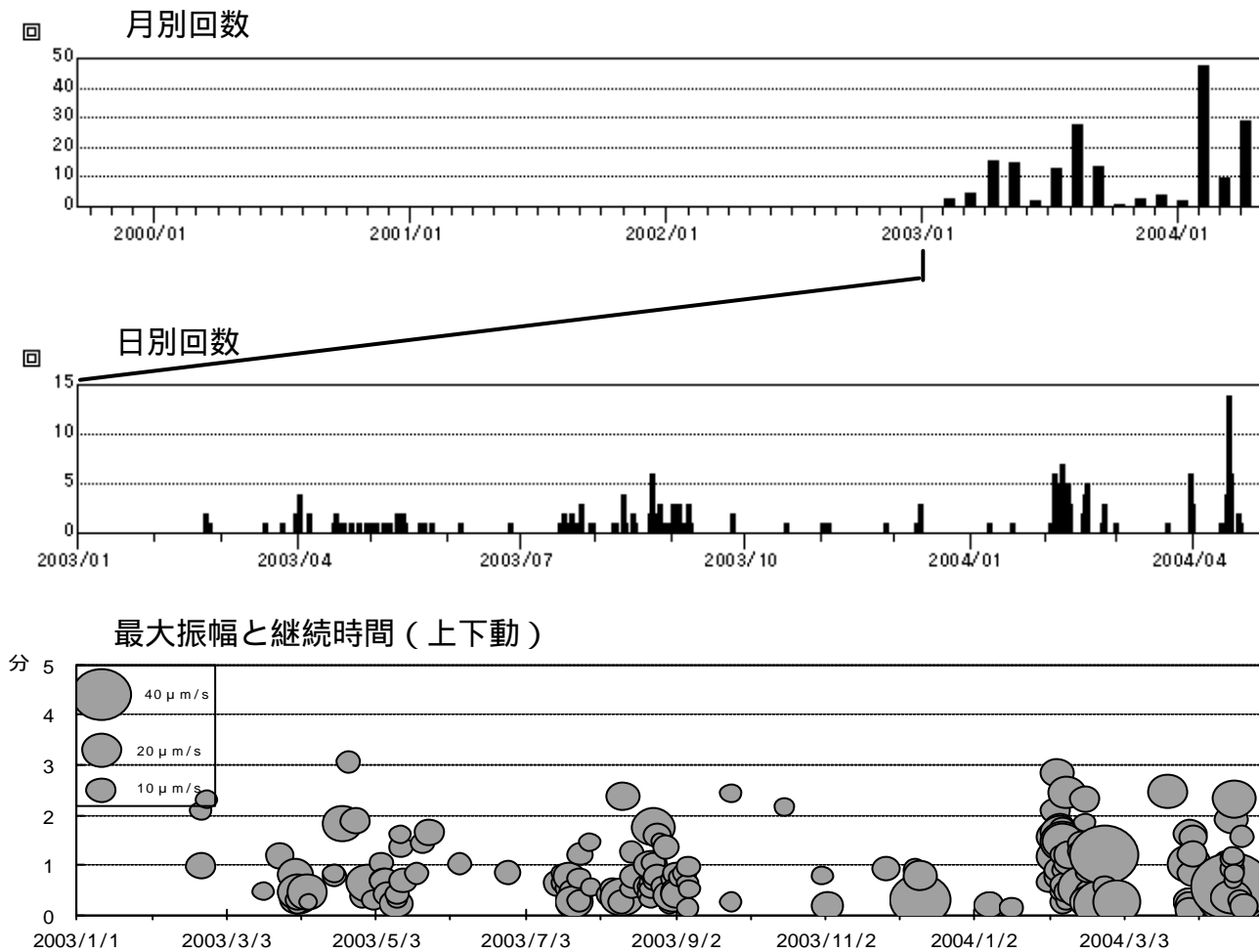


図2 火山性微動活動経過図(1999年9月13日～2004年4月30日)

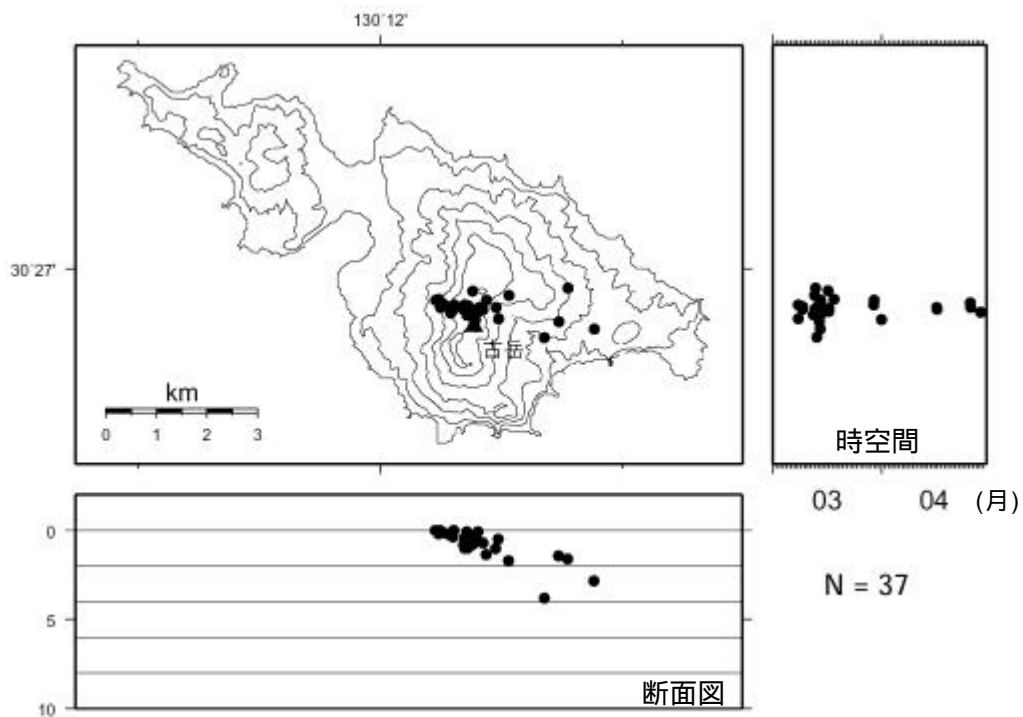


図3 火山性地震の震源分布図(2004年3月1日～4月30日)

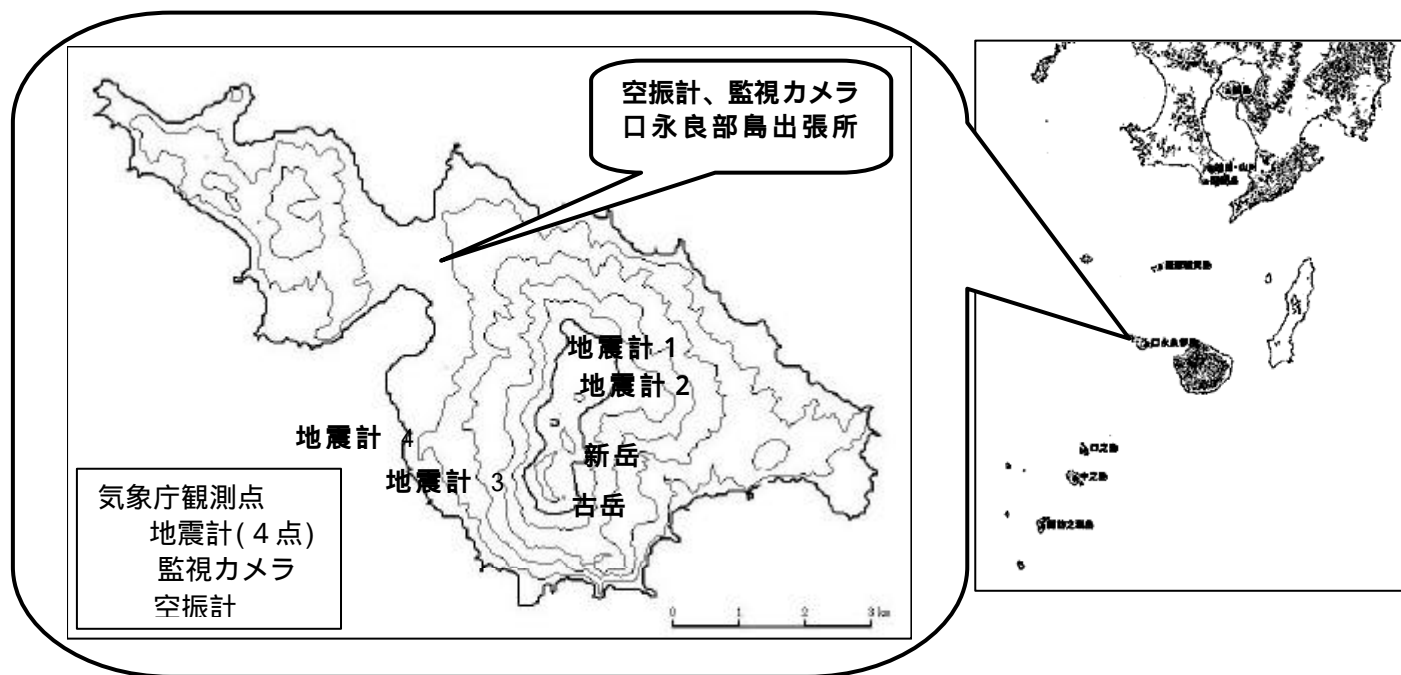


図 4 観測点位置図